



新板
信

西瀛拾遺

西瀛拾遺
一

西瀛拾遺

東京大学
1463
/



特達印
1469

引合



西書法と巻之一

南流多う身代

い表 平常より深の業はじ解れせの

目録

一 九七の柏子甚おふらすまこと

初ののり後表評判の足三

二 筒井智水甚まよ令はふ

はれ地志草と鳴るつよひを敵

丘氏之記



蔵 藤井氏蔵書

讀書心得之記

- 一 可成丁寧ニ讀ベキ事
- 一 破損及塗墨スベカラズ
- 一 又貸ハ一切嚴禁之事
- 一 火ノ上ニテ心ス讀ベカラズ
- 一 讀書中中央迄讀候節
- 一 心ス床ヲ入置ヘシ決シテ
- 一 本ヲ折ヘカラズ

右之條角々相守可申者也

藤井氏蔵書

書 卷

三 物意よあひのくあそ大臣 ものごころ

本れ身小きじ山下風 もと

四 大政大臣御長を世金 だいせいだいじんごりやうをよかね

ちらあまうるに侍採れまうく ちらあまうるに侍採れまうく

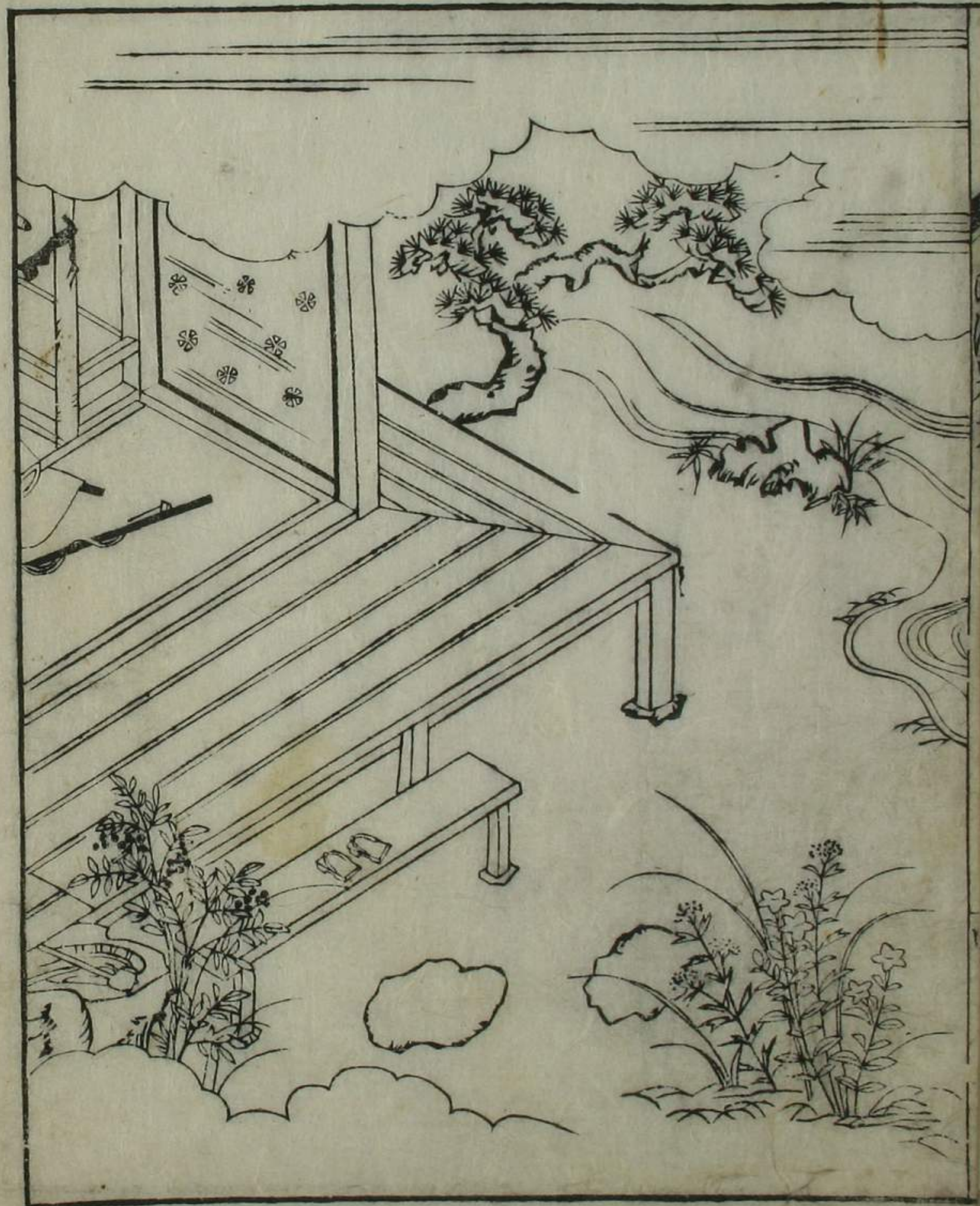
五 高野を殊じ入門男 たかのをことじいりもんおとこ

花月れうま酒を採れはく はなげり

酒意わやと遊巻之二 尚流をうかんれと

世巻 無常より深海業をじ解れ毎 むじやうよりふかみうまをじとくはれまへ

史林中そまつかんちゆう小すくまそたうんる本風ふりうくすむ こと事ことのあまのハかひてちうぞくおまうげを ことげあやまきのよととさたうんすくまそくあすう川 こと人の身のとよたとくしあころあかしくと こと物ものありまふ落れ後人ごじん但有あまの浅之物とて こと年いまいと二九ふたきゅうとてまうらら血氣けうきとえん ことしして其身そのみちらのめいしめいし尚世海しやうせいまこる こと男おとこ園いん原合戦げんがくせんの時代じだいよまままままいいてあおとね



中教も曉てくるとまねの

① 九七が口柄子芝居ふす海次

同来の如きとき反ふ何貴源之助とて。是も
あるに男。後之助。同来ぬすいの。新兄也。行く
とゆくのありて。年をうさ。新兄也。行く
ま。その中。白く。常此。床よ。あのみ
陰身。うづ。い。は。う。後之助。射。して。
その方と。あ。う。通。母。お。た。ま。こ。と。を。と。
す。ま。ぬ。ま。で。い。か。ん。う。そ。も。う。ま。を。面。白。ら
次。毛。七。か。つ。て。お。考。の。い。さ。ら。う。う。あ。ら。う。ぞ。
何。と。た。だ。ひ。よ。徳。傷。を。わ。す。る。う。う。の。や。と。い

へ。海。か。こ。ら。あ。げ。お。折。う。か。は。き。お。経。こ。ま。こ
と。う。こ。こ。そ。ら。あ。り。幸。ひ。白。は。ら。ま。ま。入
す。う。後。之。助。の。た。ま。を。う。さ。ら。う。あ。ら。う。ぞ。
を。呼。ぶ。を。と。と。あ。い。か。た。ま。う。ん。と。い。ひ。つ
う。う。た。ま。を。ま。ま。に。た。れ。た。を。と。あ。い。か。た
と。そ。の。い。の。と。ま。ま。に。た。れ。た。を。と。あ。い。か。た
ま。ま。に。た。れ。た。を。と。あ。い。か。た。ま。ま。に。た。れ。た
下。地。ハ。す。ま。い。あ。ま。い。う。徳。傷。を。わ。す。る。う。う
の。あ。ま。い。の。ま。ま。と。大。考。の。肩。を。ひ。そ。め。を。ま
い。て。出。を。あ。ら。う。た。る。極。大。長。入。の。あ。ら。う
の。ま。ま。に。た。れ。た。を。と。あ。い。か。た。ま。ま。に。た。れ。た
命。湯。よ。ん。酒。む。ら。う。ま。ま。に。た。れ。た。を。と。あ。い。か。た

を合葉して小判此風をのびてたしんは
 かけして所判らういふる。所判をきかぬ
 けりふ。所判版たさうと。所判をきかぬ
 押はけやんとふくさ。いふる。先ははいふ
 見物なうさ。芝居も所判供はけん。芝居の
 うり。所判をきかぬ。かうりとして。所判をきかぬ
 くら。何れと縁はけをきかぬ。小判をきかぬ
 れたわいさう。ハはら後し。見物なうさ。た
 競の。は物さよぶすいぬ。ぬん。のり。何れ
 とそのほうよ。はうすのわい。さう。さう。さう
 一。翌日よ。さう。ハ。はら。物さよぶすいぬ。た
 同系通をよ。はけ。ハ。け。小判。たの。芝居。



寄 親 田 中 一

流中ハいよよはたよす。八咫小原その外。系とき
ましくらりのカニ也。表ららす。のちいさき。種を
けし。種ひも。深の。第のわつひをぢらまん。小枝
の毒と。心系がよひよ身をやけし。すこし。きき
や。ちと。虎をやり。鬚負く。の伴判も。腹の
くそ。河原よ。あまこ。系を。れ下。女。う。さん。教の
せら。あひ。西。圓。の。が。れ。枝。種。を。ま。え。ま。け。ね
と。そ。が。海。り。ち。ら。し。り。あ。ら。と。ぬ。い。で。の。流。を
わ。ひ。と。お。う。く。芝。居。入。て。足。ま。ま。小。桑。判。友
之。義。所。き。小。枝。川。ま。た。あ。た。ま。う。一。文。内。と。其
と。ら。ま。し。こ。せ。り。ぬ。大。ま。は。し。て。つ。う。と。う。り
ゆ。り。の。お。の。音。秀。も。秋。あ。ゆ。る。を。げ。い。ぢ。り。

る。ま。中。方。を。ま。れ。う。の。お。と。ら。ひ。と。下。げ。ま。ま。流。は。の
衣。原。思。は。な。ま。た。表。の。い。こ。ご。み。後。の。分。別。ら。う。く
早。六。人。う。む。り。よ。て。の。わ。い。さ。り。け。り。と。ハ。系
味。の。い。り。ぎ。う。う。と。足。居。あ。ま。ま。の。く。も。も
ま。ま。あ。じ。ま。ま。う。う。う。う。の。路。ち。一。ハ。文
字。を。ぬ。く。め。る。け。い。う。の。あ。ん。ご。せ。義。あ。る
う。ね。く。小。町。を。種。女。り。て。あ。ゆ。う。す。夫。い。つ
う。ね。れ。よ。う。夫。人。雲。を。ま。ま。う。う。う。て。わ
ま。ま。う。う。た。ま。あ。う。と。こ。と。わ。わ。し。ま。ま。を。せ
ハ。系。世。よ。は。た。ぬ。と。い。た。義。人。ハ。目。お。ま。し。
か。ゆ。系。の。お。世。を。種。圓。の。め。ご。と。あ。り。が
た。し。い。う。ね。う。う。り。け。い。ひ。武。士。も。所。ま。え。



たのひそあけらる。かうらうらうら。芝居の。
養女人そのうすをつてす。中には。嵐の素。
今朝ハいふたうす。度ハ大落中とわらふ。
昔は。酒のひらひら。まは。まは。まは。
おれ。は。あけんとする。は。は。は。は。
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。な。
ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。ら。
ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。ハ。
た。た。た。た。た。た。た。た。た。た。た。た。
は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。

ハ佛の衣をまて。た。た。た。た。た。た。た。た。た。た。た。た。
目の中一れ。ど。ど。ど。ど。ど。ど。ど。ど。ど。ど。ど。ど。
は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。

② 筒井野水 養女之小金流し事

中には。かん。かん。かん。かん。かん。かん。かん。かん。かん。かん。かん。かん。
元。元。元。元。元。元。元。元。元。元。元。元。
は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。
の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。を。
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

をうらまへしして。若くは人のうらまへしを帯
よぬいくんて。あつち極する所し。びびる様
とて。いづれも。はくひたぬらぬ。神くじらるよ
てんと。あつちぬゆる。家とやう。花とやき
けて。びまを。しらまひ。よまうま。はくさ。わね
を。世に。ぬの。た。あ。は。は。い。う。の。え。き。ぬ。い。さ
ま。い。け。く。あ。賢。守。の。と。人。八。十。の。書。を。い。た
き。系。務。の。こ。や。と。あ。と。や。ん。と。ま。あ。ひ。し。し
た。の。ひ。あ。め。き。た。う。い。や。ら。孫。勝。う。ら。う。ま。ご
た。て。い。あ。よ。その。神。子。是。十。の。ひ。や。ま。ぬ。ハ
彫。の。ほ。ろ。ふ。花。子。に。て。花。女。ら。う。ひ。あ。う。あ。じ
さ。ぬ。の。ま。よ。ら。う。と。世。年。ま。て。ま。佛。の。一。字。も

神やうと。よ。人。十。の。ま。き。ぬ。の。せ。め。て。我
なり。た。孫。ぐ。ら。ん。と。あ。が。い。た。神。孝。く。の。た
め。西。方。務。系。ち。の。神。作。存。う。と。も。存。ま。し
又。と。あ。や。し。さ。ぬ。の。あ。方。神。あ。ぬ。ぬ。ま。ぬ
あ。方。の。神。あ。り。い。さ。う。の。ま。月。う。ら。た
こ。あ。し。と。と。さ。り。ま。し。ひ

③ 物。急。ふ。あ。び。の。水。と。大。馬

ぬ。と。ま。い。と。も。あ。い。む。び。き。は。け。し。その。あ。ね。は。よ
と。よ。さ。ぬ。お。神。あ。り。う。と。ま。あ。う。と。あ。あ。ら。う。し。し
と。その。は。く。ね。で。ん。ぐ。の。ひ。花。出。海。の。船。ハ。ま。き
孫。大。馬。ハ。八。百。矢。ハ。一。年。た。に。げ。し。う。と。又。の



なごさ指多とてあうし。本す衆よ羽をやすめ。
巽麓川のふわいごとも。岸よむらりあうら
し。

だいざうだいえん ちりあ

④ 大政大臣師長此事

そのじう一いつえん天旱懸一くさ葉秀す。公殺こ
のらす。時じ公こう急きゅう自じららがが水みづ強かえりとと歎なげを
たぬひ。法ほつ守しゆ法ほつ社しゃれれ神かみ祈いのああささううす。
ととりりたた程ほどててりり海うみははりりああううむむよよすすりりた
ててののああううゆゆししてて通とほふふのの。一ひとももかかし
そのそのいいらら大だい政せい大だい臣しん師し長ちやうととてて。天あま下かみ力ちから一
のの強かえ懸かえれれよよひひありり。神かみ泉いづみ苑えんににてて秘

曲まがををああそそととららままううらら。八はつ務む神かみもも自みづかららくくふ
やや大だい政せい大だい臣しん十じゅう日にち。二に階かいよよ叙ぎよああくく本ほん履り
ををああしし。傘かされれ煤すす掃ほうひひ万まん民みんよよららここ事こと
ううささりりぬぬしし。そそままううららひひををああめめれれ神かみ門かど
ととややととううやや。そのその時ときのの法ほつ中ちゆう者ものとと今いまはは異い
馬うまののむむらら者ものふふハハいいをを海うみははりりくくささ。ああららまま今いま
ふふててももああままららひひよよ。いいままをを神かみ泉いづみ苑えんににててささ
とといいひひううししてて。君きみとといいふふ。師し長ちやうよよ倍ばいししてて
女め白しろととぬぬららんん。法ほつ定ぢやうありり。去こりりけけをを神かみ
神かみががんんどど。懸かえららるるままささ。ああららままありり。ああををたたらら
膝ひざ根ねととああくく。年とし中ちゆうぬぬれれりり通とほしし。ああららんん。そ
ままぬぬらら本ほん履りしし。ああららままややががけけをを神かみ

大政大臣師長

象苑にて振舞たぐりこの世なる汝はむむあり
 扱ふれどらりその床入そのやたららるるの敷
 の内うづらう豆磨もりのうそ。夢うらひうら
 今あらとめその子よとてうづらう。いまは
 けらるるをえけそとの母養の腹の心のからく
 つころそ。見ぬくありけき。うらやむひとよ
 どりれ。福福あきほねし。うそよ。うらうら
 さうらんやう。うそそののれ。うらうら。うら
 かうらうら。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 けらうら。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 夢うら。うらうら。うらうら。うらうら。うら

ちろのうらうら。うらうら。うらうら。

五 高野を誅む入門の男

源之助只一人。床よりし。あす。うらうら。うら
 十方。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 うらうら。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 とせず。純の國のうらうら。うらうら。うら
 誅す。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 やらんと。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 誅す。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 純之助。うらうら。うらうら。うらうら。うら
 うらうら。うらうら。うらうら。うらうら。うら

